



## Chapter 3 キャンパスライフ

キリスト教の大学ですので入学式から卒業式まで、またイースター礼拝やクリスマス点火式などキャンパスで行われるイベントがミッションスクールの雰囲気にあふれています。サークル活動も盛んで、全国的に活躍している部も多くあります。学生総数約2,000名という規模ですので、学生と教職員、学生一人ひとりが大変フレンドリーで、うれしいことがあれば共に喜び、困ったことがあれば助け合うという気風にあふれたキャンパスです。埼玉県を中心部大宮駅から一駅という交通の便に恵まれたところがありますが、キャンパスは緑にあふれ、四季の変化を豊かに感じることもできるのも特色です。

# 在学者数

学部学生数 (2016年5月1日現在)

## 政治経済学部

学科名	政治経済学科			コミュニティ政策学科			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年	160	158	43	—	—	—	158
2年	160	141	43	—	—	—	141
3年	160	113	24	—	—	—	113
4年	100	99	15	80	72	18	171
合計	580	511	125	80	72	18	583

## 人文学部

学科名	欧米文化学科			日本文化学科			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年	80	45	16	80	75	24	120
2年	80	49	23	80	62	19	111
3年	80	46	27	80	82	44	128
4年	80	70	32	80	92	30	162
合計	320	210	98	320	311	117	521

## 人間福祉学部

学科名	児童学科			こども心理学科			人間福祉学科			総計
	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	定員	現員	内女子数	
1年	100	60	36	80	28	13	80	30	13	118
2年	100	97	52	80	40	20	80	64	28	201
3年	100	96	56	80	57	31	80	75	33	228
4年	100	106	62	80	64	43	80	86	33	256
合計	400	359	206	320	189	107	320	255	107	803

## 学生数総計

合計	1,907 (内女子数 778)
----	------------------

## 国籍別留学生数(2016年度)

※学部生のみ

国籍	男子	女子	総計
中国	98	63	161
ベトナム	35	48	83
ネパール	11	3	14
韓国	2	3	5
スリランカ	2	1	3
台湾	1	0	1
タイ	0	1	1
マレーシア	1	0	1
ミャンマー	0	1	1
メキシコ	0	1	1
セネガル	0	1	1
ケニア	0	1	1
合計	150	123	273

## 学科・学年別留学生数(2016年度)

※学部生のみ

学科名	政治経済	コミュニティ政策	欧米文化	日本文化	児童	こども心理	人間福祉	計
1年	69	—	15	11	0	4	3	102
2年	55	—	14	6	0	0	3	78
3年	28	—	7	3	0	1	3	42
4年	18	16	6	4	0	5	2	51
合計	170	16	42	24	0	10	11	273

## 学生の退学(除籍含む)状況について(学部)

### ■4年間の退学(除籍含む)状況

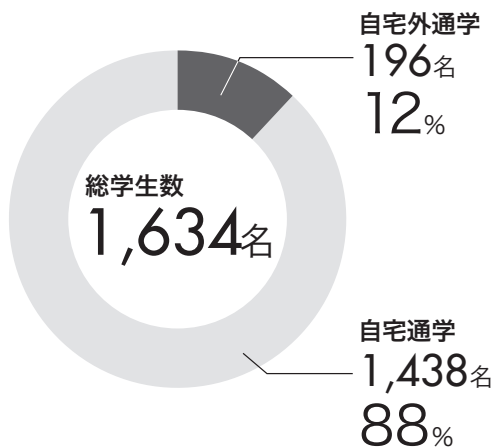
2012年4月に入学した学生数 606人  
 そのうち2016年3月に卒業した学生数 443人  
 そのうち2015年3月までに退学(除籍を含む)した学生数 101人

### ■1年間の退学(除籍含む)状況

2015年4月に入学した学生数 467人  
 そのうち2016年3月までに退学(除籍を含む)した学生数 21人

# 通学状況 (2016年5月1日現在)

## 自宅・自宅外通学の割合



## 自宅外通学者の出身県

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
新潟県	36	栃木県	4	山口県	1
埼玉県	31	山梨県	4	徳島県	1
東京都	20	茨城県	3	福岡県	1
福島県	18	秋田県	2	三重県	1
宮城県	11	神奈川	2	大分県	1
山形県	10	富山県	2	宮崎県	1
長野県	9	大阪府	2	<b>合計</b>	<b>196</b>
群馬県	8	沖縄県	2		
岩手県	7	北海道	1		
青森県	5	岐阜県	1		
千葉県	5	福井県	1		
静岡県	5	岡山県	1		

## 通学地域

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
茨城県	古河市	13	0	13
	結城市	6	0	6
	牛久市	2	0	2
	土浦市	2	0	2
	取手市	2	0	2
	坂東市	2	0	2
	神栖市	1	0	1
	猿島郡	1	0	1
	下妻市	1	0	1
	日立市	1	0	1
	龍ヶ崎市	1	0	1
<b>小計</b>	<b>32</b>	<b>0</b>	<b>32</b>	
栃木県	小山市	7	0	7
	栃木市	3	1	4
	足利市	3	0	3
	宇都宮市	2	1	3
	下都賀郡	3	0	3
	佐野市	2	0	2
	下野市	1	0	1
	日光市	1	0	1
	<b>小計</b>	<b>22</b>	<b>2</b>	<b>24</b>
	群馬県	高崎市	12	0
太田市		3	1	4
前橋市		4	0	4
邑楽郡		3	0	3
佐波郡		3	0	3
伊勢崎市		2	0	2
安中市		1	0	1
甘楽郡		1	0	1
渋川市		1	0	1
利根郡		1	0	1
沼田市		1	0	1
藤岡市		1	0	1
<b>小計</b>		<b>33</b>	<b>1</b>	<b>34</b>
埼玉県		さいたま市北区	48	65
	上尾市	88	14	102
	川口市	80	3	83
	さいたま市西区	34	27	61
	川越市	46	9	55
	春日部市	42	1	43
	さいたま市見沼区	39	3	42
	鴻巣市	32	4	36
	熊谷市	35	0	35
	越谷市	33	0	33
	深谷市	31	0	31

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
埼玉県	さいたま市浦和区	25	5	30
	加須市	28	1	29
	久喜市	26	2	28
	さいたま市大宮区	20	4	24
	北本市	22	1	23
	さいたま市南区	22	1	23
	桶川市	22	0	22
	さいたま市岩槻区	19	2	21
	さいたま市中央区	20	1	21
	さいたま市桜区	18	2	20
	狭山市	18	0	18
	戸田市	15	2	17
	坂戸市	16	0	16
	比企郡	15	1	16
	草加市	13	2	15
	新座市	13	1	14
	さいたま市緑区	12	1	13
白岡市	12	0	12	
所沢市	12	0	12	
蓮田市	11	0	11	
入間郡	8	2	10	
入間市	10	0	10	
北葛飾郡	10	0	10	
羽生市	10	0	10	
北足立郡	8	1	9	
児玉郡	9	0	9	
志木市	9	0	9	
飯能市	8	1	9	
東松山市	9	0	9	
三郷市	9	0	9	
吉川市	9	0	9	
蕨市	9	0	9	
朝霞市	8	0	8	
本庄市	8	0	8	
和光市	7	0	7	
ふじみ野市	5	1	6	
南埼玉郡	6	0	6	
日高市	4	1	5	
富士見市	5	0	5	
八潮市	5	0	5	
幸手市	4	0	4	
鶴ヶ島市	4	0	4	
秩父市	3	0	3	
大里郡	2	0	2	

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
埼玉県	秩父郡	1	0	1
	<b>小計</b>	<b>1,053</b>	<b>158</b>	<b>1,211</b>
千葉県	柏市	7	0	7
	野田市	5	0	5
	松戸市	4	0	4
	市川市	2	0	2
	浦安市	2	0	2
	流山市	2	0	2
	船橋市	2	0	2
	千葉市	1	0	1
	東金市	1	0	1
	習志野市	1	0	1
<b>小計</b>	<b>28</b>	<b>0</b>	<b>28</b>	
東京都	板橋区	24	3	27
	北区	24	2	26
	足立区	23	1	24
	練馬区	21	2	23
	江戸川区	12	2	14
	世田谷区	12	1	13
	葛飾区	10	1	11
	青梅市	10	0	10
	豊島区	6	3	9
	小平市	8	0	8
	東村山市	7	0	7
	荒川区	6	0	6
	新宿区	4	2	6
	墨田区	6	0	6
	台東区	6	0	6
	江東区	5	0	5
	中野区	5	0	5
	大田区	4	0	4
	杉並区	4	0	4
西東京市	4	0	4	
東久留米市	4	0	4	
東大和市	4	0	4	
日野市	4	0	4	
文京区	3	1	4	
国分寺市	3	0	3	
品川区	3	0	3	
福生市	3	0	3	
三鷹市	3	0	3	
昭島市	2	0	2	
清瀬市	1	1	2	
八王子市	1	1	2	

都道府県	市町村	自宅通学	自宅外通学	合計
東京都	府中市	2	0	2
	港区	2	0	2
	武蔵野市	2	0	2
	あきる野市	1	0	1
	稲城市	1	0	1
	国立市	1	0	1
	狛江市	1	0	1
	立川市	1	0	1
	多摩市	1	0	1
	中央区	1	0	1
	千代田区	1	0	1
西多摩郡	1	0	1	
目黒区	1	0	1	
<b>小計</b>	<b>248</b>	<b>20</b>	<b>268</b>	
神奈川県	横浜市	13	0	13
	川崎市	7	0	7
	相模原市	2	0	2
<b>小計</b>	<b>22</b>	<b>0</b>	<b>22</b>	
不明		0	15	15

※学生の本人住所と保護者住所の一致の状況から算出。但し、留学生を除く。

# 施設

## 施設・設備について (2016年4月1日現在)

校地・校舎面積等	(㎡)
校舎・講堂・体育施設敷地	34,076
屋外運動場敷地	26,241
その他	1,427
<b>計</b>	<b>61,744</b>

SEIGブックセンター面積 (2014年11月開設)	(㎡)
書籍	21.96
書庫	6.32
<b>計</b>	<b>28.28</b>

ピアノ・オルガン台数	(台)
グランドピアノ	4
ピアノ・オルガン台数	22
エレクトーンピアノ	6
電子ピアノ	23
オルガン	3
<b>計</b>	<b>58</b>

建物の用途別面積	(㎡)
講義室・演習室	4,070
実験室・実習室	1,088
研究室	2,154
図書館	1,519
管理関係・その他	16,170
講堂(チャペル)	2,346
体育施設	1,081
<b>計</b>	<b>28,428</b>

PC利用環境	備え付けPC
場所	
2号館	ノートPC70台
4号館	デスクトップPC83台
キャリアサポートセンター	デスクトップPC4台
総合図書館	デスクトップPC40台・ノートPC45台

学生ホール座席数	(座席数)
4号館1階食堂	189
4号館1階カフェ	36
4号館1階テラス	35
エルビス館1階食堂	190
エルビス館2階インターネットカフェ	63
エルビス館2階エルビスホール	68
エルビス館2階特別食堂	20
<b>計</b>	<b>601</b>

## 備蓄倉庫

聖学院大学は災害時における上尾市の防災拠点校となっており、上尾市役所から配給された備蓄品を倉庫に設置しています。

## 図書館利用状況 (2016年3月31日現在)

情報センターとしての機能も兼ね備えている図書館棟には、約30万冊の資料のほか、4階にグループ閲覧室、3階にはコンピュータ優先席、ビデオ、DVDを見るための視聴覚コーナーがあります。

## 開館時間(参考)

曜日	月～金	土
授業開講期間中	8:45～21:30	8:45～17:00
その他期間	9:00～17:00	9:00～15:00

休館日
日曜・祝日、クリスマス、年末年始の定める日、入試日、蔵書点検期間(年1回)等

## 蔵書冊数

年度	2015			2014	2013
	和書	洋書	小計		
<b>合計</b>	239,404	65,353	304,757	301,959	299,823
全国大学平均(2014年3月)	209,000				
	(平均は図書館年鑑2015より)				

## 館外貸出冊数

年度	全体(教職員・一般含む)			院生・学生・履修生のみ		
	2015	2014	2013	2015	2014	2013
<b>合計</b>	17,253	18,269	19,392	12,590	13,748	14,631
全国大学平均(2014年3月)	23,000					
	(平均は図書館年鑑2015より)					

## その他の資料

和雑誌	440
洋雑誌	114
スライド	34
マイクロ資料	18,825
カセットテープ	751
ビデオ・LD・DVD	3,174
CD	1,321
CD-ROM	814

## 入館者統計

年度	2015	2014	2013
開館日数	283	281	279
入館者数	112,513	125,756	134,992

## 入館者数内訳

年度	2015	2014	2013
学生計	79,486	112,751	122,517
教職員計	8,875	8,979	8,040
一般	4,152	4,225	4,435

## アクティブラーニング・スペース

図書館では、2014年2月にアクティブラーニング・スペース(AL室)が整備されました。AL室は、4つのグループ閲覧室から成り、各部屋にホワイトボード、電子黒板機能を備えたプロジェクター、可動式の椅子と机が設置されています。図書館は原則として静かにしなくてはいけない場所ですが、AL室ではディスカッションが認められていますので、ゼミの授業や学生同士のグループ学習などに活用することが出来ます。また、iPadを使用した双方向授業支援システムも導入されました。大学教育の質的転換が求められている今、図書館は「能動的な学修・アクティブラーニング」を支える施設として、活動しています。

## アクティブラーニング・スペース利用件数(2015年度)

	(件数)
授業利用	279
図書館オリエンテーション	70
その他	44
<b>計</b>	<b>393</b>

## 聖学院学術情報発信システムSERVE利用状況(2013～2015年度)

聖学院学術情報発信システムSERVE(Seigakuin Repository for academic archiVE)は、聖学院の研究および教育の成果を収集・蓄積・保存するとともに、Web上で世界に向けて情報を発信するシステムです。このような学術研究成果発信のシステムは「機関リポジトリ」といわれ、世界中で多くの大学や研究機関が構築、提供しています。SERVEもこの機関リポジトリの一つです。また、聖学院の電子的情報の散逸を防ぎ、情報の組織的保存(アーカイブ)を目指しています。

<http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/>

年度	2015	2014	2013
登録件数	235	208	258
閲覧件数	356,969	244,250	390,647
DL件数	219,739	170,217	217,860

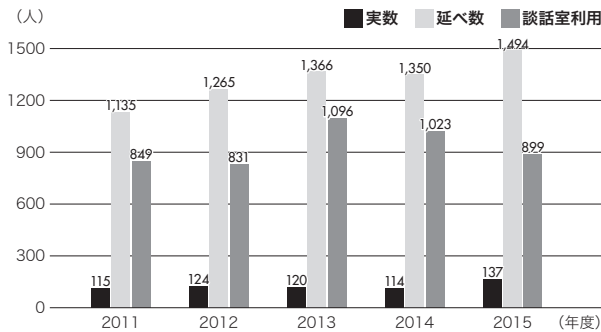
※閲覧件数とは、各紹介ページ(書誌)へアクセスした件数  
※DL件数とは、添付されている本文データを開いた件数

# 学生相談室

学生相談室は、大学生活を送る中で悩みや問題が生じたり、自分についてもっと考えたいと思うときに、その解決のお手伝いをするところです。心理的な相談だけでなく、思いがけないトラブルに遭遇してしまったり、聞きたいことがあるけれども誰に聞いたらよいかわからない時など、学生が気軽に相談できる窓口となっています。臨床心理士によるカウンセリングの他、静かに過ごしたい、ゆっくり考え事がしたいという方のための談話室を運営し、学生相談室便りを年に数回発行して心の健康の啓蒙活動も行っています。

開室時間 月～金 10:30-17:30

## 相談室利用状況(2011～2015年度)

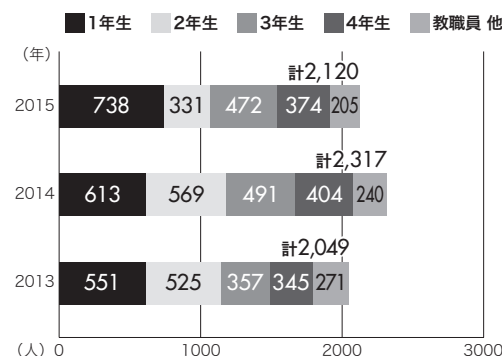


# 保健室

保健室では、けがや病気の応急処置の他に、健康関連の図書の閲覧や、アルコールパッチテスト、肥満指導も実施しています。授業期間中、毎週水曜日 14:00～15:00の間、学校医による診察や健康相談日も設けています。また、それ以外の日でも看護師による対症療法やアドバイス等も行っています。

開室時間 月～金 9:30-17:30 土 9:30-16:00

## 学年別来室者数(2013～2015年度)



# 課外活動

## クラブ・サークル一覧 (2016年3月31日現在)

分類名	団体名	所属人数
委員会・連合	学友会総務委員会	35
	学友会文化会連合	15
	学友会体育会連合	20
	学友会特別委員会連合	15
	第28回 ヴェリタス祭実行委員会	31
	2015年度 卒業関連事業準備委員会	10
演劇部	演劇部	14
	軽音楽部サウンドスクエア	40
	茶道部 表千家	20
	写真部	5
	東南アジアボランティア部 Rung	13
文化会	放送部	11
	法学研究会	11
	イラスト文芸部	31
	アカペラ部～てくてく～	21
	手話同好会	8
文化会同好会	猫文化同好会	23
	国際交流同好会 まのと	12
	政治学研究会 Liberty	10
	漫画創作研究同好会	6
	美術同好会	6
	コメディ同好会 喜楽	5
	華道同好会	10
	書道同好会	5
	ゲーム研究同好会カナン	6
	ほたるクラブ	7
体育会	硬式庭球部	14
	サッカー部	15
	スキー部 ALPINA	4
	男子バスケットボール部 poseidons	14
	軟式野球部	7
	バドミントン部	10
	バレーボール部	10
	陸上競技部	41
	ソフトボール同好会 久米	12
	ソフトテニス同好会	15
体育会同好会	バスケットボール同好会 GRIP	30
	バレーボール同好会	35
	ダンス同好会 CRUSH	17
	サッカー同好会 kacy's	44
	卓球同好会	14
	アウトドア同好会	43
	ワンダー・フォーゲル同好会	5
	聖学院大学クリスチャン・フェローシップ	20
	聖学院大学聖歌隊	11
	特別委員会	聖学院大学ハンドベル・クワイア
聖学院大学フィルハーモニー管弦楽団		10
聖学院大学ボランティア・アシエーション		34

## アルバイト時間

### 学期中、アルバイトとして週何時間くらい働いていましたか。

(2015年度卒業生アンケート) 回答者数(383)、回収率86%

内容	回答数	割合
15時間以上	113名	34%
10時間以上15時間未満	86名	26%
5時間以上10時間未満	62名	18%
5時間以内	21名	6%
アルバイトはしていない	55名	16%

有効回答数より表を作成。

# 学費

## 学部 授業料等納入金(2016年度)

学科	学年	学期	入学金	授業料	教育 拡充費	施設費	後援会 入会金	後援会費	学友会費	学会費	卒業関連 事業費	同窓会費	学研災 ガウン代	合計	年間合計	
政治経済 欧米文化	1年次	春	280,000	355,000	30,000	120,000	50,000	24,000	10,000	—	—	—	6,300	875,300	1,350,300	
		秋	—	355,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	475,000		
	2年次	春	—	365,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	529,000	1,014,000	
		秋	—	365,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	485,000		
	3年次	春	—	375,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	539,000	1,034,000	
		秋	—	375,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	495,000		
	4年次	春	—	385,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	24,000	20,000	—	593,000	1,098,000	
		秋	—	385,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	505,000		
	合計			280,000	2,960,000	60,000	960,000	50,000	96,000	40,000	—	24,000	20,000	6,300	4,496,300	4,496,300
	日本文化	1年次	春	280,000	355,000	30,000	120,000	50,000	24,000	10,000	2,000	—	—	6,300	877,300	1,352,300
秋			—	355,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	475,000		
2年次		春	—	365,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	2,000	—	—	—	531,000	1,016,000	
		秋	—	365,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	485,000		
3年次		春	—	375,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	2,000	—	—	—	541,000	1,036,000	
		秋	—	375,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	495,000		
4年次		春	—	385,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	2,000	24,000	20,000	—	595,000	1,100,000	
		秋	—	385,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	505,000		
合計			280,000	2,960,000	60,000	960,000	50,000	96,000	40,000	8,000	24,000	20,000	6,300	4,504,300	4,504,300	
児童 こども心理 人間福祉		1年次	春	280,000	380,000	30,000	120,000	50,000	24,000	10,000	—	—	—	6,300	900,300	1,400,300
	秋		—	380,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	500,000		
	2年次	春	—	390,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	554,000	1,064,000	
		秋	—	390,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	510,000		
	3年次	春	—	400,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	—	—	—	564,000	1,084,000	
		秋	—	400,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	520,000		
	4年次	春	—	410,000	10,000	120,000	—	24,000	10,000	—	24,000	20,000	—	618,000	1,148,000	
		秋	—	410,000	—	120,000	—	—	—	—	—	—	—	530,000		
	合計			280,000	3,160,000	60,000	960,000	50,000	96,000	40,000	—	24,000	20,000	6,300	4,696,300	4,696,300

### (納入方法・その他の費用)

本学の学費等の納入時期は、春学期と秋学期の年2回納入となっています。

教育拡充費は、新入生オリエンテーションおよび教育用コンピューター維持に係る費用です。

教職課程などを履修する場合は、別途実習費用が必要となります。また児童学科、人間福祉学科で実習科目を履修する場合も実習費用が別途必要となります。

## 大学院 授業料等納入金(2016年度)

### 修士課程／博士前期課程

	学期	入学金	授業料	施設費	後援会費	学研災	合計	年間合計
初年度	春	280,000	365,000	60,000	5,000	1,750	711,750	1,136,750
	秋	—	365,000	60,000	—	—	425,000	
2年次	春	—	365,000	60,000	5,000	—	430,000	855,000
	秋	—	365,000	60,000	—	—	425,000	
合計		280,000	1,460,000	240,000	10,000	1,750	1,991,750	1,991,750

### 博士後期課程

	学期	入学金	授業料	施設費	後援会費	学研災	合計	年間合計
初年度	春	280,000	365,000	60,000	5,000	2,600	712,600	1,137,600
	秋	—	365,000	60,000	—	—	425,000	
2年次	春	—	365,000	60,000	5,000	—	430,000	855,000
	秋	—	365,000	60,000	—	—	425,000	
3年次	春	—	365,000	60,000	5,000	—	430,000	855,000
	秋	—	365,000	60,000	—	—	425,000	
合計		280,000	2,190,000	360,000	15,000	2,600	2,847,600	2,847,600

○修士課程は標準2年間、博士後期課程は標準3年間です。(表は春学期入学の例です)

○「長期履修制度」の利用希望者は、上記標準在籍年限(2年間)分の授業料を3年間または4年間で分納することになります。

なお、分割納入できるのは授業料のみです。(詳細は「長期履修制度募集要項」参照)

○アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所博士前期課程シニアコースは、標準修業年限2年のところを3年、または4年まで延長することが可能です。延長に伴い、ご負担いただくものは後援会費と学研災のみです。



# 奨学金

## ルーラ・ロング・コムズ記念奨学金

**減免について:**年間授業料の30%を学納金より減免。減免期間は1年間。

**対象:**全学生(日本人)。主として家計を支えている人の昨年1年間の所得金額が700万円未満。

1年生は春学期、2～4年生は前年度学業成績GPA2.5以上。

**募集期間:**1年生9月上旬～10月上旬、2～4年生3月下旬～4月上旬

**2015年度:**49名 **2014年度:**50名 **2013年度:**51名 **2012年度:**11名 **2011年度:**23名

※2012年度以前はラーニングサポート制度として1年生のみ対象

## 聖学院大学進学・修学支援制度

現在進行中の金融危機の影響で経済的な理由から大学進学をあきらめざるを得ない受験生を支援するために聖学院大学では2009年度一般入試で「緊急・経済支援特別入試」を実施いたしました。2016年度入学の受験生に対しても、自立修学を支援するものとして以下の通り支援計画を実施しました。

2017年度入学の支援についても実施いたします。

### 2015年度入学時支援

#### A 学費月払い制度の適用

- ・申請書に基づく選考によって決定。
- ・申請者のうち高校在学中に「学生支援機構第一種」に予約、確定した者は、入学後支援機構から振り込まれる費用を月々自動振替によって学費にあてることとします。

#### B 入学金免除

- ・申請書に基づく選考によって決定。
- ・入試ごとの審査により計30名まで。

### 採用人数

年度	2015	2014	2013	2012	2011
学費月払い制度の適用	11	22	22	27	12
入学金相当額給付	12	22	16	28	15

## 聖学院大学災害被災者修学支援奨学金(東日本大震災被災者・修学支援制度)

東日本大震災にあっても、このために大学進学の夢をあきらめなくてほしいと考え、特別入試制度と緊急経済支援措置を設けて、2011年度・2012年度は入試D日程特別入試を実施しました。被災を受けられた方は被災の状況により、最大で入学金の免除と一年間の授業料の全額免除が受けられます。この緊急経済支援制度は、聖学院大学災害被災者修学支援奨学金になりました。2016年度でも同様の入学支援を行います。

### 1. 対象

地震・風水害等の自然災害等により被災した学生

### 2. 対象者

- (1) 家計支持者が死亡、又は家計支持者の居住する家屋が全壊もしくは全焼した者
- (2) 家計支持者が居住する家屋が半壊もしくは半焼した者
- (3) 家計支持者が居住する家屋が床上浸水した者
- (4) 家計支持者が居住する家屋が床下浸水または一部損壊した者
- (5) 災害にともない経済的に困窮した者。ただし学生本人の父母又はこれに代って家計を支えている者(主たる家計支持者一人)の収入金額が、下記a、bのいずれかである者

a. 給与所得者 700万円未満

b. 給与所得者以外 350万円未満

※この項目でいう収入金額とは、「給与所得者」にあっては源泉徴収票の支払金額(税込)とし、「給与所得者以外」にあっては確定申告書等の所得金額(税込)とする。

### 3. 支援措置内容

選考の上、下記の措置を決定いたします。

- 対象者(1)については、  
入学金および当該年度授業料(春学期・秋学期)の全額を免除する。
- 対象者(2)については、  
入学金および当該年度授業料(春学期・秋学期)の50%を免除する。
- 対象者(3)については、  
入学金および当該年度授業料(春学期・秋学期)の25%を免除する。
- 対象者(4)については、入学金を免除する。
- 対象者(5)については、  
入学金および当該年度授業料(春学期・秋学期)の50%を免除する。

### 4. 採用人数

2015年度: 新入生2名 2014年度: 新入生1名 2013年度: 新入生2名  
2012年度: 新入生2名 2011年度: 18名 (在学生11名/新入生7名)

## 奨学金利用者数

### 聖学院大学独自奨学金給付・貸与者数

年度	2015	2014	2013
チャールズ・エリアス・ガルス奨学金	7	6	6
女子聖学院短期大学記念国際交流奨学金	22	11	16

年度	2015	2014	2013
聖学院大学後援会修学援助奨学金	2 春学期0 秋学期2(給付1)	1 春学期0 秋学期1(給付1)	0

### 日本学生支援機構奨学金新規貸与者数

日本学生支援機構の奨学金は、学業に励む学生自身に貸与されるものです。したがって卒業後、学生自身が返還することになります。返還金は、後輩の奨学金として再び活用する仕組みになっています。

年度	2015	2014	2013	2012	2011
第一種奨学金	41	39	65	45	43
第二種奨学金	119	139	172	184	190

### 外部奨学金給付者数

現在聖学院で取り扱っている奨学金は、上記奨学金以外にも都道府県・民間育英団体などからの各種奨学金があります。募集期間はほとんどが4～5月に集中しています。これらの奨学金は、給付・貸与の別、奨学金、採用人数、金額など条件が各々異なり、採用人員が少数です。

年度	2015	2014	2013	2012	2011
ツツミ奨学財団奨学金	0	0	0	0	1

### 留学生授業料減免対象者数

※学部生のみ

年度	2015	2014	2013	2012	2011
単位規定(30%)	174	178	199	193	198
成績上位(30%)	16	21	36	46	70

### その他の主な修学支援制度(奨学金/教育ローン/自立支援)

- ・聖学院大学 学費サポートプラン
- ・ジャックスの教育ローン
- ・みずほ銀行提携教育ローン
- ・授業料月払い制度
- ・キャンパス自立支援制度[生活サポート基金]

# ボランティア活動

聖学院大学では、東日本大震災の被災地の復興支援をきっかけに、2011年5月、復興支援ボランティアセンターが設置。2012年度には、ボランティア活動全体を支援するボランティア活動支援センターが設置され、復興支援だけでなく、地域支援活動にも広がりが出てきています。

## 1. 東日本大震災復興支援活動

### (1) 被災者親子への支援活動

こども心理学科・金谷京子、児童学科・坂本佳代子(共に教員)及び臨床発達心理士会により、以下のような支援を継続。(2011年～)

・加須・所沢に避難している親子への支援 ・いわき市仮設での遊び広場開催 ・南相馬の専門職研修・保護者心理相談

### (2) 岩手県釜石市を主な拠点とした活動(2015年4月～2016年3月)

2011年12月より岩手県釜石市にて復興支援活動に取り組んでいます。冬の「サンプラプロジェクト」、春の「桜プロジェクト」を中心に活動を展開しています。

日程	内容・場所	参加人数
4月17日～19日	さいたま市「清香園」協力により盆栽桜約200鉢を現地の希望者へ贈呈配布するボランティアスタディツアー「桜プロジェクト4」を実施	鶴住居地区ほか 学生25名、教職員7名、一般1名
8月6日～9日	ボランティアスタディツアー「よいさっ!プロジェクト2」 宮城県沿岸部被災地フィールドワーク、「釜石よいさ」の参加、子どもたちを対象とした「かまっこ★あそびランド」の実施。常盤高校、聖学院高校の生徒も参加。	宮城県仙台市、岩手県釜石市 学生34名、教職員9名、高校生22名、高校教員3名
12月4日～6日	ボランティアスタディツアー「サンプラプロジェクト5」 被災地見学、郷土料理づくり、交流会、こどもクリスマス会、仮設住宅の清掃、やきいも会等	釜石市鶴住居地区、唐丹町、橋野町 学生30名、教職員8名

※そのほか、学内外での被災地支援募金活動を複数回実施

## 2. 地域連携活動他

2013年4月、地域連携・教育センターが開設し、以降、さいたま市、上尾市、春日部市、埼玉県、岩手県釜石市を中心に地域連携活動を積極的に展開しています。また、埼玉県内のボランティア活動に取り組む大学生のネットワーク組織「さいたま学生ボランティアネットワーク～わかたま～」の運営に、聖学院大学の学生も参加しています。

日程	内容・場所	参加人数
2015年1月～	入居者の高齢化が進む県営団地「上尾シラコバト住宅」に若い世代を呼び込むため、埼玉県が、学生や子育て世帯向けに空き部屋のリフォームを実施。本学学生も2015年より入居開始。	学生18名
6月13日、20日	子ども大学あけお・いな・おけがわ「こどもがつくるまち ミニ聖学院 あ・い・おタウン」P78参照	本学
6月27日	ボランティア活動助成公開審査会・ドネーションパーティ	学生・一般 約100名
9月10日、11日	大学ボランティアセンター全国フォーラム2015 参加	新潟青陵大学他 職員2名
9月21日、10月3、4日	台風18号に伴う被害へのボランティア	栃木県小山市、鹿沼市 学生、職員5名
9月28日、29日	台風18号水害への復興支援募金活動	大宮駅 学生4名、職員1名
10月24日	コスモス・アース秋のコスモス祭り参加	コスモスアース 学生7名
10月25日	さいたまKI-TAまつり	宮原駅ロータリー 学生27名、他教職員
11月2日、3日	釜石フェスティバル、ボランティアフェスティバル(ヴェリタス祭)	本学
11月7日、8日	あげお産業祭 ステージ参加	上尾市民体育館 学生15名、アカペラ部
11月7日	台風18号水害関連 常総市児童の「遊びとお話し会」	常総市内集会所 学生4名、職員1名
11月14日	上尾駅前市民塾にて、復興支援ボランティア活動支援センターの紹介	上尾市市民活動サポートセンター 学生3名、職員1名
11月21日、22日	上尾消費生活展 ボランティア参加	上尾市コミュニティセンター 学生18名
11月28日	あげお子ども大学 P78参照	本学
12月10日	宮原にサンタがやってくる(主催:宮原青年クラブ)	宮原駅ロータリー 学生8名
12月12日	大谷支所 防災講座にて学生が復興支援活動の報告を実施	上尾市立大谷公民館 学生5名、職員2名
12月12日	第6回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉にて、学生発表報告	大宮ソニックシティ 市民ホール 学生2名登壇
12月17日	「復興支援活動～いま、私たちにできること～」(エマオ活動紹介・報告会)	本学 31名
1月13日～31日	宮原駅との連携企画「ググっとくまフォトコンテスト」協力	宮原駅 学生4名
2月22日～28日	上尾市のPR広告を考える あげおえがおミーティング(4回)	聖学院大学 2号館 11名
3月7日	常盤高校生徒対象への特別授業(人間福祉学科教員)	本学 生徒82名
3月8日	「3.11 いま僕たちにできること」協力	聖学院高校 学生4名、職員1名
3月11日	「3.11あの日から5年～未来への祈り～」開催	本学 58名
3月11日	わかたま×聖学院高校合同募金in大宮	大宮駅 4大学1高校29名(内聖大10名)
3月13日	さいたま市見沼区防災講演会にて被災地活動報告	さいたま市見沼区役所多目的室 学生5名、職員2名
3月26日	第3回スマート・サイクル☆フェスタ	上尾丸山公園 学生21名

※そのほか、学内外での被災地支援募金活動、ボランティア講演会などで事例報告等を複数回実施。

## 3. 学生サポートメンバー養成講座

学生と共につくる、育つセンターを目指し、2012年のセンター開設時から年1回、「聖学院大学のボランティア活動を盛り上げる」学生コーディネーター養成を目的とした講座を実施。